



新座中だより

学校教育目標

強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号

電話 (048) 478-3668 FAX (048) 482-0131

新座市立新座中学校

令和4年度 特別号《令和4年度学校評価》

令和4年度の学校評価を公表します。これを基に令和5年度の教育活動にさらに改善を図っていきます。

自己評価

職員による評価、保護者・生徒による学校評価を基にして職員会議で職員全体の評価をまとめたものです。

学校関係者評価

学校関係者評価委員会(校長が委嘱した7名の委員で構成。学職経験者、民生委員、主任児童委員、卒業生の保護者、保護者)でまとめたものです。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は目指す生徒像である「認め合い、互いに努力する生徒」を実現するために、「凡事徹底」に全職員で取り組んでいる。	B	中間評価時には未実施だった体育祭や合唱祭に対し、職員が「目的」や「指導の重点」に着目して指導を展開したことにより、行事を通して様々な場面で生徒の成長が見られた。一方で、日常生活における指導項目については、教職員間の指導観や指導能力の差が見受けられる部分があり、「凡事」のレベルを共有しながら生徒の対応にあたっていく必要性がある。	B	・学校行事の体育祭や合唱祭への取組を見ていると、コロナ禍の中での練習でも、また、はじめての経験である教師も多くいる中で、生徒は一生懸命取り組んでいた。今後は、教師の指導力や経験年数の差を縮めるべく工夫と努力をしていってほしい。・先生方の自己評価が上になっており、体育祭の生徒達の様子から積極的に取組がなされていると思います。ただ指導能力の差があるという課題から、今後を期待したいと思います。・コロナ対策で時間を取られて、能力の有る先生方への負担が大きかったことと思います。大変だと思いますが新入教員への指導教育を行うことで自分の負担が少なくなることが出来ると思っています。これからは色々なことが出来る環境が揃ってきているので腕の見せ所です。・体育祭での生徒と先生方との一体感、信頼の醸成に取り組んでいる姿をほほえましくの中に感じました。今後のチーム作りで期待したい。高く評価します。・行事も増え、生徒たちのいきいきとした場面もあり成長が見られました。しかし教職員間の指導観、能力の差が見受けられるという点で、全教職員がこれから自信を持って取り組んでほしい。少し厳しいですがAに近い。・先生方の指導と努力により、生徒の成長が行事を通して見ることができた。ただ、先生方の指導力と感覚の差が感じられます。重点目標を立てるなどして更なる指導をお願いしたい。・昨年より少し良くなってきている。先生方のレベルアップが必要かと思われます。
2	学校は、「明るく・楽しく・元気な学校」づくりを推進し、一人ひとりを輝かせ、自己有能感を育てている。	B	各学級の教室掲示にとどまらず、各教科及び各学年、部活動等により掲示物の工夫が見られる。さらに研修推進委員会による「道徳的素養をはぐくむ」掲示物の作成・掲示により生徒の心の醸成が図られている。また、学年や各担任が作成する通信において生徒の自己有能感を高めるような記載等を掲載している。多くの教職員が形成的で肯定的な声かけをしているものの、教職経験の浅い教職員が多いこともあり、生徒対応やアプローチの方法に自信が持てない面が自己評価に影響していると考ええる。	A	・授業の様子や、学校行事の生徒の姿を見ると、落ち着いたいて、目を輝かせて取り組む場面が多く見られた。この生徒の落ち着いた状況の中でこそ、積極的にさらに策を打って出るチャンスととらえ「チーム学校」として組織的に取り組んでほしい。・授業参観や体育祭での子供たちの顔がとても良く輝いていました。もう少し先生方も自信を持ってほしい。・生徒たちがよく考え工夫して掲示物を掲示しているのは、素晴らしいことだと思います。着実に生徒の成長が認められます。・経験の浅い先生への指導を着実にやっていくことが重要なことだと思います。自信をもって指導してほしい。・輝く学校づくりに自信を持って取り組んでほしい。新人、ベテラン各々認め合い一体となってチャレンジして下さい。期待します。・以前より、コロナ前に近づくとよく掲示物など教室その他工夫、明るさなどが目についた。先生方が自信を持てないというところから、どのように今後向き合っていくのか、この評価シートの特長で考えながら、なおよくたと思う。・自己有能感を育てようという先生方の努力と気持ちが行事を通して感じられました。何より、明るく楽しく元気な先生方が多く、生き生きとした姿が印象的でした。・教え方の工夫が実ってきたようです。
3	学校は生徒一人一人の興味関心を大切にし、学習意欲を高め、ICTを活用しながら、わかる・できる喜びを味わわせる教育活動を行っている。	B	授業における導入・展開・終末それぞれの部分で生徒の興味関心を高め、目的意識を持って授業に参加させるべく日々の教材研究に取り組んでいる。ICTの活用は、授業展開や課題の提示等に可能な範囲で取り入れながら進めている。一方で、すべての教職員が積極的ICTを授業に取り入れているとは言い難い面もあり、ICT活用のための教材研究や研修の時間の確保が今後の課題である。	A	・生徒アンケートの結果「授業がわかりやすく充実している」JA+B=90%「教え方をいろいろ工夫している」JA+B=96%という数字はすばらしい。今後は、ICTを積極的に効果的に活用するとともに、教師の指導力の差をなくす努力をすすめてほしい。・生徒達のアンケートから、授業の教え方を工夫されているのがよくわかります。まだまだICT活用方法はあるかと思いますが今後とも学習の楽しさを教えてほしいと思います。・授業を見ていると、ICTの活用は進んでいると思います。教職員の格差があったとしても生徒達は着実に成長していると思えます。・自信を持ってください。・更なる取組に期待したい。・ICTにおいては、コロナ禍というとても早く急速に進んだように思われる。先生の評価が低いのはなぜかと思う。試行錯誤しながらも、取り入れようとしていると思われる。これから研究授業なども進めたいという活用していけると思う。また、生徒たちの「先生方の教え方をいろいろ工夫してくれている」の評価が高いところからとしたい。・授業参観ではICTを活用した授業が見られ、昨年より前進していると感じました。ICT教育には教職員のスキルが不可欠であると思いますので、研究、研修を継続していただきたい。・これからだと思います。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	学年主任や各分掌主任のリーダーシップのもと、学校運営を進めている。一部の担当職員に業務の負担が過剰な状況が改善するため、昨年度末に分掌を統合・整理し、業務の削減や委員会活動と連動できるような調整した。しかし、コロナ禍の行事縮小等により、行事等の運営経験のない教職員もあり、企画・提案力や指導力の向上に向けて、複数で対応できる体制を整えている。今後も業務を適切に分担・管理する必要性を教職員全体で共有できている。	B	・国の教育改革の真只中、また、ウィズコロナ、ポストコロナの中で必ず残さなければならないものと、必ず残さなければならないものを、大胆に改革を進めることを見極め、組織運営を行ってほしい。・その中で経験年数の少ない教員の育成を進めてほしい。・コロナ禍によりレギュラーなことも多く大変だったかと思う。行事等も始まり、通常の生活に戻りますので今後を期待したいと思います。・仕事ができる人に集中します。問題点を明確にして、分担できる業務が何なのか明確にすることが大事です。なんでもやらせてみる事が人を育てるポイントです。失敗しても優しくフォローして育ててください。・コロナ禍の中での各取組に工夫され敬意を表します。更なる取組に期待します。・全体的に若い先生が多いように思われる。その中で業務の分担、把握するのは大変なことと思う。運営経験がなく「記録」という形で今後参考にできる資料作りなども先生方の異動なども含めていかに受けついでいくかどう考えても良いのでは先生方の評価は低いですが期待をこめて、Aでできる人に負担が集中してしまうということでしょうか、業務が見えないと問題が解決しません。学校業務を「見える化」によって問題解決にあてていただきたいと思っています。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	学校評価を中心に、PDCAサイクルの意識を持って運営に努め、工夫しながら「計画・実行」はできたが、「評価・改善」まで至らない点もあった。ふり返りを行い、次年度以降に活かせる体制づくりを行う。	B	・「評価・改善」までは至らない点は、OJT(オンザジョブトレーニング)等、分掌ごと、学年ごと、小さな組織集団で具体的な改善策を出し合うこと、また、管理職、主任層の強いリーダーシップのもとで改革を進めてほしい。・改善まで行かないという点ですが、実行は出来たという点です。・問題点を明確にして改善してください。・更なる取組に期待します。・「評価・改善」が出来なければ、次に良い方向に変わることは難しい。せめて「評価」までは常に振り返ってほしいと思う。・PDCAサイクルの意識をCAPDサイクルの思考につけていくことで流れも変わるかがあるかもしれません。工夫をしなが運営にあたっておられると思います。・工夫しながらの実行ができ、良かったと考えます。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	事故や不審者等に対する基本的な対応は、教職員間で共有できている。今年度は、避難訓練と引率を伴う集団下校訓練を実施し、有事の際の動きに備えて生徒と共に再認識することができた。今後も自信を持って対応できるように、訓練の形式を工夫する。	A	・健康と安全は、なによりも優先されるもの。「常を疑う」を大切にしたい。引き続き指導していきたい。・事故や不審者に対する基本的な対応は、子供を預けている保護者にとって一番大事な部分だと思っています。・また自己評価が低かったが、評価が上ってきているということは危機感を感じつつも進んでいるのではないかなと思った。・引き続き訓練を行ってほしい。・今後も自信を持って対応、工夫していただきたい。・学校には生徒たちにとって頼れる大人は先生方です。先生方の自信ある自己評価、とても安心です。・避難訓練、集団下校訓練を実施することが出来て良かったと思います。いつ起こるか分からない有事に備える対応を続けていただきたいと思っています。・学校内は特に安全でなければいけない。体制が整っている。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	全体的に学習規律は定着しており、授業に落ち着いた取り組みをする生徒が多い。年度当初に確認している学習ルールの継続的な指導については、指導状況に差が生じないように教職員間の共通理解を引き続き進めたい。	A	・授業参観をしていて年々学習態度がよくなり、目を輝かせて授業に取り組んでいる生徒が増えている。今がチャンスである。「誰一人として残ることなく」「確かな学力」をつけてほしい。・学習している生徒達を見たところ落ちついて授業を受けているようでした。・学習ルールを定めていくことで、学力の向上が認められているか検証してみたい。認められていけば良いが、認められない場合は学習ルールの改定が必要で、・生徒が落ち着いた取り組みに取り組んでいる。・さらには、授業の原点と言うべき光景と見える。先生方の御指導に敬意を表します。・授業の様子には生徒たちも楽しそうに落ちついて進んでいるように見えた。先生方の自信ある自己評価、とても安心です。・生徒の学習の様子を見ることができました。引き続き、教職員間の共通理解を深めるよう努力していただきたい。・ボランティアの応援をもっと必要と表します。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	昨年度にも増して、Chromebookの活用により、従来の対面の言語活動だけでなく、ネットワーク上の言語活動が可能になった。直接的な対話や発言が苦手な生徒の意思表明・表現を見取り、認めながら授業が進められている。	A	・GiGAスクール構想の具現化のために、学校現場がそれぞれの生徒の実態にあった効果的な方法をつみつけていくことが大切と考える。まだ導入さればかりである。手さぐりで実践をしてほしい。・まだまだ課題はあるかと思いますが、Chromebookを活用しているような生徒に対応した授業をされているかと思う。・発言が苦手な生徒の声を聞けるようになっていく事は良いですね。もっと良くなる為、Chromebookの活用方法を考える事が必要です。・生徒の意思をとり、最速の注意を払って授業をしてほしい。・直接的な対話や発言が苦手な生徒にとって参加できる授業作りが出来ていることは大きな成果といえる。生徒たちにとっても自信につながる授業作りで期待して・ICTの活用により、表現方法が広がり、言葉を考えて作っていく力が向上しているのではないかなと思います。それに反して、書く力、発表、発信力についてはどうなっているか不安でもあります。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	今年度の県学力・学習状況調査の結果から、上位層と下位層の伸びが確認された。課題は中間層の学力の伸長と、各学級に在籍する支援を要する生徒に対する個に応じた指導の充実である。校内研修だけでなく、学校訪問時の指導や各種研修会の参加を通して、よりよい学習指導法を共有していく。	B	・生徒が学習態度が良くなっていく中、生徒の実態や、一人一人の特性を見極め、「指導の個別化」と「学習の個性化」を図ってほしい。・学習状況調査の結果で伸びが確認されたということで、今後も引き続き適切な学習指導をしてほしいと思います。・継続して取り組んでください。・学力の向上が確認された、先生方の御指導、手ごたえ、高揚感、達成感を更に確かめながらよりより更なる取組に期待します。・先生方の評価も高く、生徒も保護者からも学習に対する充実度が低い。点数などは成績で比較しがちだが、生徒たちのモチベーションを上げるために指導法の研究もお願ひしたい。・個に応じた指導には、教職員間の共通の理解と認識が必要だと思ひます。引き続き、体制を整えて指導にあたっていただきたい。・生徒達の答えは、先生や相談員さんを、良し思っている。安心してほしい。
10	学校は、英語(外国語・外国語活動)の授業の充実すると、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	AETと共に、日常の授業において英語の活用場面を増やしている。また、各季節の特色ある行事を取り入れ、生徒の興味や関心を高められるような様々な工夫を凝らした英語活動に取り組んでいる。	A	・これまでの成果を大切に、生きて使える英語教育を進めてほしい。・英語に興味、関心をもてるように今後も引き続き取り組んでほしいと思います。・継続して取り組んでください。・先生方の評価も最高位であり手ごたえ充分だと思ひます。・更なる取組に期待します。その姿勢も高く評価したい。・英語は机に向かうだけでなく、国際理解も含め力を入れている様子がよくわかる。これからの社会でいろいろなことを受け入れられる人材となれるよう今後も期待したい。・充実した授業が展開されているのだからと思ひます。引き続き生徒の興味が高まる授業をお願いしたい。・レベルが上ってきている。

評価項目「豊かな心の育成」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	日常的なあいさつ指導は行っているが、例年、生徒専門委員会等で取り組んでいるあいさつ運動等を積極的に推進するための指導は困難であった。また、教職員から積極的に挨拶をする姿勢を見せるとともに言葉遣いについての校内研修を実施して、教職員自身が範を示せるように意識向上の場を設定した。生徒に対する指導場面を逃さず、繰り返し正しい言葉遣いの必要性について説諭していく。	B	・あいさつや言葉遣いは、生徒がその意味や価値を理解した時に、身につくことも多い。学級指導や道德教育を充実させて、さらに向上させてほしい。・まだコロナ禍の影響で積極的な取組ができなかったと思います。あいさつはとても大切なことですので日頃からのあいさつを大事にしてもらえたらと思います。今後を期待しております。・教師自身が模範を示してください。心がもっていければ小声でも十分OKです。家庭での教育が一番大事だと思います。・更なる取組に期待します。・言葉遣いに自信のない先生が多いのだろうか？少し残念に思う。TPOに合わせての言動について意識し、先生方の背中を生徒たちにぜひ見せていただきたい。・校内では気持ちの良いあいさつをしてもらっています。言葉遣いも気持ちの良い、不快に思われない場に応じた言葉遣いが出来るよう指導を続けていただきたい。・あいさつは良く出来ている。恥ずかしい心もあるのでは。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A	学校行事や各学年の取組を通して、生徒間の人間関係構築に必要な関わりを持たせることができた。アンケート等を活用し、いじめや悩みの実態調査も継続して実施している。個別対応が必要な生徒が増えているため、十分な聞き取りと教職員の連携体制を強化している。	A	・現在、全国的に「いじめ・不登校」が課題となっている中、学校の自己評価がAになっていることはすばらしいと考える。引き続き、生徒一人一人の特性を見極め、組織的、継続的にきめ細かい指導を続けてほしい。・生徒のアンケートからも先生と生徒の間で信頼関係があることが良くわかります。・いじめについての実態は外からでは分かりません。小さな声も見逃さない様にしてください。・落ち着いた授業が安定した学校となり、教育環境の向上につながると思います。更なる取組に期待します。高く評価します。・先生方の生徒達に向き合う姿勢が生徒たちにも伝わっているように思う。これからも聴く姿勢を大切にお願したい。・教職員と生徒の信頼関係が良好であることが行事を通しても窺えました。自己肯定感を持つことでお互いをも認め合えるようになる。そのような関係性をつくるような対応をしてくださっているのだと思います。・いじめや不登校がなくなるようお願いします。
13	学校は教職員自らが手本となり児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	規律意識を高める指導として、生徒指導部が中心となり教職員の「指導力向上」に係る取組を進めている。前年度課題に挙がっていた「時を守り、場を清め、礼を正す」ことについて、教職員が範を示すことには改善が見られる。	B	・経験年数の浅い教員が多いとのこと。No.11にも示したとおり、教師がその意味や価値を十分理解し、生徒に指導してほしい。・課題の改善が見られているということなので今後を期待したいと思います。・先生方が模範を示して下さい。気を緩まず取り組んでください。・更なる取組に期待します。・①同様、生徒たちは先生や大人の行動、育中を見ています。教える、指導をする立場として手本となることを意識されていると思います。意識し続けることを願います。・授業中に寝ている子は少なく、全体的に向上している。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	B	体育授業や部活動の時間には、学校中に元気な声が響いている。昼休みの体育委員会による用具貸し出しや運動施設開放を通して、全校生徒に運動ができる環境を提供している。部活動においては今までの技術指導に加え、生徒に考えさせることで主体性を育もうとする部活動が増えてきている。	A	・コロナ禍で運動する場や機会も減る中、活動の機会を増しているのことは素晴らしいと思う。力いっぱい体を動かし、汗びっしょりかせる場面を引き続きお願いしたい。・元気な子供たちを良く見かけます。しっかりと指導をされているのだと思います。・コロナのため思うような活動が出来なかった事と思います。その中で知恵を出し合って出来る方法を考えて実践していると思います。・生徒、保護者の評価も高く、対応が評価されている。更なる取組に期待します。・中間より本評価がかなり下がっているところが気になる。部活も以前のように活発でないように見受けられる。【体力向上】ということにも重きを置いてもらいたい。・コロナ禍で体育系の環境が整わないことも大変であると思います。その中でも体力向上を目指す指導をなさっていると思います。・コロナ禍のため、時間的にうまく進まないようであった。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	栄養職員が中心となり、工夫を凝らした献立表の作成や給食時の放送で食に関するクイズや情報を提供する等、生徒の興味・関心が高まるような取組を実施している。家庭科や学活の授業においても栄養職員とチーム・ティーチングで食育に取り組んでいる。	A	・食育は、生きる根幹をなすものである。今現在、将来、そして親の世代になったときにも大切なことである。引き続き充実した指導をお願いしたい。・献立にも工夫されており、積極的に食育に取り組まれていると思います。・栄養教員へ敬意を示します。これからは、食材の価格が高騰して大変だと思いますが、生徒のため頭を絞ってより良い献立を作ってください。先生方の方さまざまな取組に評価が高い。自信を持って取り組んで下さい。高く評価します。・家での食事はなかなか簡素化はつたり買ってきたものが多いから、自分の食を見つめ直す良い時間を作ってください。このまま続けていただきたい。・食育への取組が積極的になされていると思います。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、できたての給食が食べられることは素晴らしいことです。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	学校評価アンケートや行事におけるアンケートを実施し、意見をいただく機会を設けて対応にあたった。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、従来の面談や保護者会、学校公開等の来校の機会は設定しにくい状況であったが、PTA活動や役員の方々との情報交換を通して、意見をいただくながら対応を模索した。	B	・コロナ禍でICTの活用が多く取り入れられている。保護者が学校に来校するばかりでなく、リモートの保護者会や情報発信など、新しい保護者との連携も工夫することも可能になるかもしれない。コロナ禍ということでもなかなか機会を作ることが難しかったかと思います。今後を期待したいと思います。・保護者の意見をくみ上げ、共通認識化して取り組んで下さい。・コロナ対応やアンケートの実施等の取組を評価したい。・更なる取組に期待します。・コロナ禍で直接会うのは難しい状況の中で、要望への応え方や対応は大変だったと思います。⑦のように「発信」という部分とは違って、コミュニケーション、対話に対する慣れ、改善があれば評価も上がるのでは？・コロナ禍の影響で保護者の来校の機会も少なく、不安に思う保護者も多かったのではないかと思います。その中でも適切に丁寧に対応しようと努力なされていたと思います。・常に努力が必要です。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	各種通信、ホームページ、スクールメールなどを通して情報を発信しており、保護者会を参集型からICTを活用した開催方式で実施する等、情報提供の方法を工夫した。・ホームページ整備されたChromebookを効果的に活用した情報発信について、GIGASスクール推進担当等と連携して組織的に対応できるようにしている。	A	・GIGASスクール構想の中でICTの活用が一層推進されている。多くの情報発信を行い、さらなる連携を図っていただきたい。・保護者会をオンラインにしたことで今まで出席が出来なかった方も参加できたのは良いと思います。ただ、先生と直接相談できたりする機会がなくなってしまうのが心配です。・ICTを活用して発信力が高くなっています。これからも継続して下さい。・あらゆる手法を活用して発信し、評価されている。高く評価します。・以前よりホームページ、学校だよりが元氣になってきた気がします。結局、活動があるからだと思います。また、ICTを活用する保護者会は働いている保護者が多い中、「繋がる」ということが出来て良かったと思います。・ICTを活用した情報発信が進んできていると感じました。・良いと思う。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	地域の方に学校へ来ていただく機会は昨年度と同様の状況が継続しているものの、あいさつ運動や読書聞かせ等の活動は計画どおり実施できた。今年度は、通常の除草作業に加えて、各教室のエココンパイル・扇風機掃除について多くの保護者に協力いただき、教育環境整備が進んだ。さらに、昨年度より導入した生徒専門委員会と地元企業の共同事業である「人工芝設置プロジェクト(新座グリーンキャンペーン)」は、12月に実施予定である。	A	・地域や保護者の協力を得られるということは、学校が信頼され、多くの情報を発信しているからだと考える。教職の負担も考えつつ、地域と保護者、学校が一体となって取り組んでほしい。・今後も保護者、地域との連携での環境整備、声かけ運動等を引き続き、続けていきたいと思う。・学校応援団との活性化は進んでいるので、学校でやりたい事を示し、優先順位を出して取り組んで行くといいですね。・除草対策、いやし情緒の醸成づくり等人工芝対応が期待される。着眼点がいい。効果も期待します。高く評価します。・ボランティアが少しずつ戻ってきて、環境整備されているのはとても良いと思います。生徒達にとって居場所が気持ちよく過ごせる場所であることが大事だと思います。委員会などを通して、生徒達がどう思うかなど含め、地域も巻き込んで活動できれば常に自信を持ったAになるのでは？・コロナ禍で生徒たちのボランティア活動が減少しているのが悲しいです。しかし、徐々々に地域・保護者との活動が活発になってきており連携力の強さを感じます。・まだまだ応援の声かけが足りないのではないのでしょうか。中庭の5月6日は良いが、7月頃一度手を入れたいいけない。

以上の学校評価を受けまして、来年度も「認め合い、互いに努力する生徒」の育成を目指し、次のように取り組みます。

○「学力向上」

- ・基礎学力を定着させるために、ICTの活用等指導方法の改善に努め、生徒の学習意欲を向上させ、主体的に臨むことのできる授業を展開する
- ・生徒の発達や能力に応じた指導・支援を推し進める(来年度 Qubena、ロイロノートを効果的に活用し、生徒の学力向上につなげる)

○「豊かな心の育成」

- ・生徒一人一人が学級や学年での役割を自覚し、集団生活をより良くしようと思える学級・学年経営を行う
- ・いじめ等に対して、常に起こりうることを自覚し、特に予防・早期発見・解決に向けて取り組む
- ・場に応じた言動を行えるよう、粘り強く指導を繰り返し、教職員自らが手本となることのできるよう努める